

カエル調査マニュアル

カエルは、豊かな農村環境の象徴的な生物の一つであると言われています。また、カメムシやウンカなどの害虫を食べてくれる益虫の働きをしてくれます。農地周辺では、たくさんのカエルが見つかります。調査を通じて、カエルをはじめとした身近な生きものが、農業と深いかかわりがあることを知っていただきたいと考えています。

【方法】

- ・畦を歩き、とび出すカエルの種類と数をほ場ごとに記録します。
 - ・調査にかかる時間は、1ほ場あたり約10～15分です。
 - ・草刈り直後や気温が上がる午後はカエルが少なくなるため、避けてください。
 - ・見失った、種がわからなかったときなどは「不明」に数を記録してください。
- ※調査票は調査対象のほ場数分コピーしてお使いください。
※カエルの種名については別紙をご参照ください。

【場所】

- ・農都のめぐみ米の取組みを行うほ場の中で、平均的な大きさのほ場を選び、その周辺の畦を歩いてください。
- ・草刈り直後はカエルが少なくなるので、できるだけ畦の草丈が20cm程度の田んぼを選んでください。
- ・調査が必要な田んぼの枚数は右下表のとおりです。

【時期・時間】

- ・6月下旬から7月上旬を目安とし、中干時期までに調査してください。
- ・気温が上がらない午前中に調査してください。

【提出物】

- ・カエル調査票

【提出先】

各農業者は認証を受ける団体にご提出ください。
認証を受ける団体は、構成員分の生きもの調査票をとりまとめ、その写しを農都政策課までご提出ください。

農都のめぐみ米 申請面積(a)	調査ほ場数 (筆)
10以上50未満	1
50以上100未満	2
100以上150未満	3
150以上200未満	4
200以上250未満	5
250以上300未満	6
300以上(上限)	7

図 1 調査必要ほ場数一覧

